

熊退教協

発行所
熊本市中央区九品寺1丁目11-4
熊本退職教職員等協議会
(代)372-1500
編集者発行人
田川勝也
印刷
コロニー印刷
☎353-1291(代)

No. 103

第四十八回 熊退教協定期大会報告

熊退教協事務局長 桑本 謙

皆様ご存知の通り、今年度は新型コロナウイルス感染症防止への対応を迫られ、熊退教協においても六月九日の地区会長会での論議を経て、急遽書面表決による開催となりました。その場で定期大会議案書と書面表決書を配布し、議案についての提案をさせていただきます。



葉子さん作

抗議はがき行動に取り組めたこと。③本年度より熊退教協定期大会を隔年開催とすること。なお、定期大会を開催しない年は、地区会長・女性代表者の会をもって決議機関とすること。④来る衆議院議員選挙においては、野党統一候補の当選に向けて取り組むこと。⑤二〇二二年の参議院議員選挙では日政連議員古賀ちかげさんの当選に向けて取り組むこと。⑥新役員として副会長に菊池地区より松田道雄さん、事務局次長に熊本地区柏野勝広さんを選出する。等々でした。

第48回熊退教協定期大会

その後、全地区のご協力をいただき、六月十八日の締め切り日には本年度の全代議員二十九名全員より書面表決書が届きました。そして、六月二十三日熊退教協役員会において、書面表決の結果を集計し、確認を行いました。

その結果は、第一号議案から第七号議案まですべて承認されました。中でも重要な内容としては、①昨年の熊本七月豪雨において日退教として熊退教協全員の協力を得て被災された二十五世帯の皆様へ総額百五十万円のお見舞金をお送りできたこと。②日本学術会議任命拒否について

昨年来の新型コロナウイルス感染症は収まりを見せないどころか、変異株がいくつも見られるようになってしまいました。対策の切り札ともいえるワクチン接種も政権の不手際でまだまだ時間がかかりそうです。

私の場合は、昨春に熊教組の委員長になってからお会いする人はマスク姿ばかりで、なかなか顔を覚えることができません。退教協の皆様におかれても、行事の中止や行動の制約でストレスが増しているのではありませんか。

さて、学校現場にとつての最近での朗報は、文科省が教員免許に10年の期限を設ける

いま、熊教組は

熊本県教職員組合 委員長 杉田正幸



組は、制度導入当初から文科省に対して制度の問題点を指摘してきました。連動して、国会では、日教組の政治団体である、日本民主教育政治連盟(略称「日政連」)の議員が、たびたびこの問題を取り上げ

ました。改めて、我々の声を代弁してくれる議員がいかに大事であるかを認識させられました。今秋には衆議院総選挙と山都町議会選挙、来春には菊池市議会議員選挙、来夏には参議院議員選挙と続きます。「コロナ禍」で活動には大きな制約がありますが、私たちの目指す社会をつくるために、働きやすい学校現場とするために、子どもたちが楽しく学べる教育環境を整えるために、推薦や支持を決定した候補者の当選に向けて頑張らねばと決意を新たにしています。退教協のご支援よろしくお願いたします。

第48回熊退教協定期大会書面表決の結果

- 第1号議案 2020年度経過報告 賛成29 反対0 承認
- 第2号議案 2020年度一般会計報告及び会計監査 賛成27 反対2 承認
- 第3号議案 2021年度活動計画案 賛成29 反対0 承認
- 第4号議案 2021年度一般会計予算案 賛成27 反対2 承認
- 第5号議案 熊退教協会則改定について 賛成29 反対0 承認
- 第6号議案 県役員の選出について 賛成29 反対0 承認
- 第7号議案 大会スローガン採択 賛成29 反対0 承認

以上の結果すべて承認されましたことを報告します。

◆阿蘇地区より◆

古澤千代勝遺詠集発行のお知らせ

阿蘇地区退職教職員等連絡協議会事務局

阿蘇退教協の名物会員であった古澤千代勝さんが昨年亡くなられましたが、生前その思いを短歌に託して披露された姿を偲び、会員の中から遺詠集として手にしたいという要望が出され、ご遺族の協力を得ながらこの春に作成することができました。題名は「根っこ」とさせていただきます。古澤さんは「千代勝ちゃん」の愛称で他支部の仲間をはじめ同和教育、平和教育をはじめ多くの社会運動の仲間の皆さんとのつながりがありましたので、この度この便りでも紹介し、ご希望の方には配布したいと思います。



望の方に配布したいと思います。

熊退連 (熊本県退職者連合)

熊退連 副会長 工藤 征子

一冊千円郵送料別途(二二〇円)です。
申込先 児玉史郎 090・3070・4214
渡辺 大 090・7462・0029
佐藤謙二 090・2508・4314
郵送先住所を添えて電話にてお申込みください。

衆議院議員選挙への取り組みについて

～活動方針より抜粋～

来る国政選挙では、護憲・民主推進などの候補者として、教育・平和・社会保障などを取り向けて取り組みます。

本年10月予定の衆議院議員選挙では、反自民で結集した野党統一候補である熊本1区「はまだ大造さん」、2区「橋田芳昭さん」、3区「馬場こうせいさん」、4区「矢上まさよしさん」の当選に向けて取り組みます。

会員の皆さん方のご支援、ご協力を宜しくお願いたします。



お詫びして掲載させていただきます
前回・第102号の中で、錦戸美奈子さん(天草地区退教)からの投稿文につきまして、大事な内容が未掲載のまま印刷・発行されてしまいました。
最終の校正作業が不十分であったことを編集部として深くお詫び申し上げます。つきましては、原稿どおりの全文をご紹介させていただきます。

今、(傘寿に)思うこと

天草支部 錦戸 美奈子



初孫が生まれた年に退職しました。定年まで五年を残していたので、「子ども達とのふれあいを、まだ続けたい」等、正直、心残りもありましたが、その頃、九十歳を過ぎた義母が入退院を繰り返して、暗い日々だったので、孫の世話があれば気も晴れるかと思いき、退職を決断したのでした。けど、現実には厳しいものでした。自分の病院通いも加わり、多忙な日が続いているそんな時、「合唱団の指導をお願いしたい」との熱心なお誘いをいただき、「一緒に歌いましょう」と、うれしい気持ちでお引き受けして、二十四年、今もそれが続いています。

週一回の公民館活動ですが、メンバーは、歌う事が大好きな人ばかりの女性合唱団です。家庭的な雰囲気の中で、全員が心をひとつにして、ハーモニーを感じる事ができます。易しい二部合唱だったり、少し難しい三部合唱をしたり、時には、自分の教え子達に声をかけて混声合唱を楽しんだりもしました。歌う時の表情も皆さん素敵で、週一回の練習が待ち遠しく感じます。

昨年は、コロナ禍の中、例年と異なる工夫(感染対策)も必要でしたけど、メンバーの熱意で続けられました。自分の健康と体力が続く限り、合唱団と関わって、素敵な笑顔のコーラスで、楽しくもあわせて時間をすごせるようにしたいなあと思っています。



地区退教協の紹介

進展する：鹿本

鹿本 山田 光雄



鹿本退教協たよりも四代目にバトンタッチ。初代前田さん。二代目高井さん。三代目永瀧さん。一六号まで十六年間担当され本当にお世話になりました。昨年からは、小川さんと、楠田さんの若い二人が担当されることになりました。

特に新役員の楠田さんは初めての一一七号のたよりのなかで次のように挨拶されています。

「退教協に入って三年目にして、大役を仰せつかり戸惑っています。現役時代、特に退職前の十年近くは組合員としての活動がほとんどできていなかったため、自分にできるのだろうかという不安で一杯でした。ただ、実際編集を始めてみると、依頼した原稿を快く引き受けていただき、早目に届けてくださる皆様の温かい心に触れ、どうにか務めることができるかも知れないという思いが変わってきました。未熟な点が多いかと思いますが、皆様のお力を借りて頑張っていきたいと思っておりますので、よろしく願います。」

もう一つ変わったのは、小川さんのお陰で、役員の携帯でのラインが始まったことです。コロナで集まる機会がなくなりましたが、ミニ情報や動画を配信いただき楽しませてもらっています。動画なんか作れたらもっともっと楽しくなるのでしようが、今年は波には勝てません。

ストップ!! 『緊急事態条項』②

★緊急事態宣言とは似て非なるもの★

城北 田中 洋

前号で、憲法に緊急事態条項が明文化されていないことやナチスドイツ下で言論・出版・報道の自由が停止され、戦争への道を突き進んでいったことを述べました。

現在の日本には、ナチスドイツ下での緊急事態宣言は存在しません。自民党が憲法に設けようとしている「緊急事態条項」がナチスドイツ下での緊急事態宣言に相当します。

心から歓迎します

日々の暮らしの中で思うこと

熊本市 米野 孝子



定年退職まで五年。最後の学校であと一踏んばり、ができず早期退職しました。退職したら何しよう。片付け？家庭菜園？平日に買い物に行ったり映画見に行ったりもできるな...と思っていました。いざ毎日が日曜日の生活が始まると、「明日でもいいか」という気持ちが生まれ、何もせずに一日が過ぎてしまうことでもあります。

そんな中で四月から始めたのは、フリマアプリです。断捨離の一環として始めました。教育書や児童書、仕事で使っていた小物等出

これからも「ぼちぼちできたし」で

上益城 中村 恵子



毎日いろいろなことがありましたが、元気だけが取り柄の私、なんとかなるさと気持ちを切り替え、前に進むことができました。こう考えられたのは、これまで出会った子どもたちと組合の仲間の皆さん、そして家族の支えがあったからだと思えます。この仕事をしたからこそ、人として大切なことをたくさん学ぶことができました。今年度は、新採研の後補充の役を受けてい

2013年7月、麻生太郎副首相は次のように発言しています。「...中国も騒ぐことにならざるをえない。韓国も騒ぎますよ。だから静かにやろうや、と

言うんで。ドイツのこと...、ワイマール憲法がいつの間にか変わって、ナチス憲法に変わっていたんですよ。だれも気が



新加入の方へ

品しています。十年、二十年前の本です。当時の流行の教育技術を扱った本は見向きもされません。児童心理や教育原理等、いつの時

代もかわらないテーマの本は、たまに売れます。「購入者はお若い方かな。この本が役に立つといいな」と思いながら発送します。ITCだ何だど変化の大きい教育現場。昨年からコロナ対応も加わり、その忙しさは私が採用された頃とは比べようもありません。そんな中で唯一の嬉しかったニュースは、免許更新制度廃止です。現場は離れましたが、教育に、社会に関心を持って過ごしていきたいと思っています。

この四ヶ月、家の片付けや掃除、庭の草取りと、これまでためていたことがすっきりしてきました。「今日は何をしよう。」と自分で決められるのは、とてもうれしいことです。女性部で声を掛け合ってきた「ぼちぼち、できたし」で、これからも元気に過ごし、毎日を楽しんでいきたいと思えます。

皆様のお仲間に入れていただき、どうぞよろしくお願います。付かないうちに変わっていたんですよ。あの手口学んだらどうかね。」

政府が麻生氏の発言通りに動かないという保障はありません。憲法に「緊急事態条項」を明文化することは、戦時体制への逆行を意味し、他の条項の改定以上に怖いものです。安倍政権になってから、日本を戦争のできる国・戦争する国へと変えていきました。このような流れを阻止するために力を合わせて憲法改悪に反対し、平和・自由・平等・共生を基本とした社会を次の世代に引き継いでい

八月は、原爆の事・戦争の事について

熊本 大森奈美子

「今日は、長崎で原爆が落ちた日だね。」

「えっ、そう？」8月6日、70代と思われる女性の会話を耳にし、戦後76年も経つと、広島・長崎への原爆投下の日はつきりしなくなるのだと思いました。だからこそ、8月15日の平和集会でお話を聞きたかったのですが、今年もコロナ禍の為中止となりました。私は巣籠りの中で、ニュースや新聞からじっくり学ぼうと思えました。また「幸福に一番近い島からの手紙」12歳の小さな恋（梶田武宗著）を読み返しました。

父の死を機に波照島から東京に転校することになり、島言葉・貧困をからかわれ、いじめを受け自ら生命を絶つたマサミの話、島で起きた戦争中の多くの住民の死などを盛り込んだ胸が痛くなる一冊です。

平和学習の中で、静子先生が「戦争では、兵隊さんだけが死ぬのではありません。戦争

熊本県作文の会に集う仲間達

宇城 小山 禎子

退職して十六年、いまだに作文の会に所属して、現職の仲間達とともに活動しています。退職者は私だけではありません。馬田哲明先生をはじめとして、先輩方もたくさんいらっしゃいます。なぜ退職してからまでと言われるかもしれませんが、社会認識と心を育てる綴方教育のよさを伝え、実践が途絶えないようにと願うからです。

県内には、毎月例会を開いている熊本、宇城、菊池地域合同の熊本市のサークルや天草のサークルがあります。私達退職者は、現職の人の実践発表や悩みを聞いて、意見を言ったり、サポートするのが主な役割です。そこでは私達自身も、今の学校教育の現状を聞いて、自分の認識を新たにすることができ、学ぶこともたくさんあります。それをサークルのみんなと共有して、綴方教育を盛り上げようとしています。

先輩の渡辺剛先生は、放課後や休日に生徒を集めて作文教室を開いておられます。こんな実践もできるのです。熊本県作文の会では、毎年実践集を発行して、綴方教育の成果を伝えていきます。小さな実践の積み重ねが、子ども達の成長につながる

なんかしたくないと思っているふつうの人もたくさん死んでいかなければならないのです。このことをよく覚えておいてください。」と、子どもたちに訴えます。

「コロナが広がっているのに、安全・安心を呪文のように唱える菅さん、核兵器禁止条約参加について無視しているような菅さん、死にたくないと思っ

ふつうの人が、あなたの政策のため死ななければならぬのです。」と私は訴えたいです。

私自身この8月は、戦争を反対する心、平和を願う気持ちをもち続ける月としたいです。

毎年地区持ち回りで行なっていた熊本県作文大会は、今年もコロナ禍で中止になりましたが、今年も県全部の拡大集会を八月九日に開いて「この作品をどう読むか」等の討論を

しました。みなさんも作文の会の仲間になりませんか。

2022 参議院議員選挙必勝に向けて No.1

熊退教協会長 田川 勝也



熊退教協48回大会で推薦候補者として「古賀ちかげ」を参議院に送り出す為、会員の皆様、まずはお名前を覚えてください。古賀候補は熊本大学を卒業後、福岡で教員として勤務されています。今年度は、熊本の発展に寄与する為、候補者の名前を記憶することをお願いいたします。



り、福教組日教組の発展に寄与する為、候補者の名前を記憶することをお願いいたします。